むさしの青空市のあり方検討委員会報告書～中間のまとめ～

令和３年 12 月
むさしの青空市のあり方検討委員会

◆◇◆◇◆中間のまとめについて、皆様のご意見をお寄せください◆◇◆◇◆

◇提出方法：氏名、住所、連絡先をご記入の上、郵送、ファクシミリ、メール又は直接、武蔵野市役所消費生活センター（市民部産業振興課消費生活係）へご提出ください。

◇募集期間：令和４年１月 24 日（月）～令和４年２月 10 日（木）

◆郵送：〒180-0004　武蔵野市吉祥寺本町１-10-７武蔵野商工会館３階
武蔵野市消費生活センター宛

◆ファクシミリ：0422-51-5535　　武蔵野市消費生活センター宛

◆メール：cnt-syohisya@city.musashino.lg.jp

《お問い合わせ》
武蔵野市市民部産業振興課消費生活係
電話　0422（21）2972

１　むさしの青空市の概要

昭和 48 年のオイルショックを契機として省資源、省エネが喚起され、リサイクル、フリーマーケットなどの市民運動が全国的に拡大した。

本市においても、市民団体や一般市民の参加による実行委員会と市との共催事業として、昭和 56 年 11 月に第一回むさしの青空市を開始した。

むさしの青空市は回を重ねる中で、当初のリサイクル、リユース運動を中心としたものから、農業振興（ＪＡとの連携。農産物品評会を同日開催）、友好都市交流など目的が加わり、市民交流の『お祭り』的な事業へと変化してきた。

《参考》第 39 回むさしの青空市

・開催日　　令和元年 11 月 10 日実施（令和２年度、３年度は中止）
・参加団体　58 団体（出店 44 団体、協力２団体、舞台出演団体 12 団体）
・来場者　　約１万８千人

２　むさしの青空市のあり方検討委員会の設置経緯

令和２年度の事務事業見直しにおいて、事業開始当初の使命は果たされたと評価され、この事業の歴史的な経過を踏まえつつ、さらに事業目的の整理を行い、関係者等と協議の上今後の在り方について検討することが求められたところである。

また、このむさしの青空市に携わってきた役員が高齢化し、新たな担い手も確保できないことから、実行委員会の運営が困難な状況となっている。

これらの課題や現状を踏まえ、リサイクル、ごみの減量などの問題に先駆的に

取り組み、市民の実行委員会方式で運営されてきたむさしの青空市のレガシーを検証し、さらに武蔵野市のまちの魅力を創出する新たな事業の方向性を検討するため、**むさしの青空市のあり方検討委員会（以下、委員会という。）**を設置した。

《参考》令和２年事務事業見直し結果集抜粋（令和３年３月）

<table>
<tr><td>事業番号</td><td colspan="6">20</td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">青空市</td><td>主管課</td><td colspan="2">産業振興課</td></tr>
<tr><td>事務事業概要</td><td colspan="6">むさしの市民公園で毎年 11 月の日曜日に開催する、環境やくらしの安全を考えるための市民の交流イベント。会場内では、ごみ減量・分別資源化啓発を参加団体の実行委員会で実施している。</td></tr>
<tr><td>見直し区分</td><td>その他</td><td>効果額</td><td>（事業費）</td><td>0 千円</td><td>（人件費）</td><td>0 千円</td></tr>
<tr><td>見直し内容</td><td colspan="2">約１万 8000 人が集まり、かつ飲食を伴うイベントであり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和３年度に従前と同様の形で開催することは困難と考えられる。また、リサイクル意識が市民に一定程度定着し、使命を果たしたとも評価できる。
令和３年度の青空市開催の可否及び今後の青空市のあり方について検討する。</td><td>見直しによる影響・対応策</td><td colspan="3">消費者によるリサイクル運動から始まり、農業振興、友好都市交流も目的に追加されてきた青空市の歴史的経過を踏まえつつ、時代の変化にあわせて事業目的を整理し、青空市の役員等の関係者や関係課と協議し、検討を進める。なお、むさしのエコ re ゾートや環境フェスタにおいて、リサイクルも含めた環境全体の啓発を行っていくこととしている。</td></tr>
</table>

３　むさしの青空市の意義と成果

（１）消費者運動・市民の交流促進

オイルショックによる経済の混乱に対抗するために、昭和 48 年 12 月に武蔵野市消費者運動連絡会（消費連）が結成され、27 団体の消費者団体が加盟した。消費連が実施していた生活用品交換会がむさしの青空市に発展し、消費連は中心的な役割を担ってきた。

また、むさしの青空市は第一回から市民団体、ＪＡ、商店会などの市民による実行委員会形式により実施され、団体間、来場者との交流の場となっている。

（２）リサイクル意識、ごみ減量への取り組みの向上

むさしの青空市の開始当初、家庭で不要になった衣類、小物などを回収、販

売した消費連や家具などの回収品を修理して販売したシルバー人材センターの出店は、むさしの青空市の柱となった。高度成長期の大量生産、大量消費から環境に配慮した消費への転換、リサイクル、リペア、リユースの意識を広く浸透させた。

また、当時、ふじみ焼却場へのごみ搬入阻止や武蔵野クリーンセンターの建設など、ごみの問題は市政の大きな課題だった。その状況を背景に、クリーンむさしのを推進する会などを中心に、「青空市でゴミは出さない」をスローガンにごみの減量、分別に取り組んだ。この取り組みはイベントでのごみ減量の気運を醸成した。

（３）市内農産物・友好都市物産の販売と交流

農産物品評会の出品野菜の即売会やＪＡによる宝船の展示販売などにより、市内農業について広く市民にＰＲすることができた。

また、友好都市の物産販売やステージでの郷土芸能の披露などにより、友好都市の魅力を発信し、さらなる交流のきっかけの場となっている。

（４）賑わいイベントの実施

おおむね１万人を超える来場者があり、参加団体の出店するテントでの買い物や飲食、ステージでの多様なプログラムを楽しむ『秋のお祭り』として定着している。

４　委員会委員による主な意見

（１）むさしの青空市の評価

・クリーンむさしのを推進する会のごみ分別の指導により、市民への意識づけができた。
・リサイクル家具や手作り小物を、青空市で販売できることで張り合いがあった。
・資源活用やごみ減量や分別に取り組めたことが、青空市の大きな役目だった。先駆的なものだった。
・青空市はお祭り。和気あいあいとみんなが楽しめる場だった。

（２）むさしの青空市の課題

・開始当初は市民運動の要素があったが、だんだんお祭りの要素が濃くなった。お祭りは桜まつりがあり、目的や目指すものを整理する必要がある。
・出店はしたいが実行委員会はできないという人が多い。担い手が確保できない。高齢化が顕著になっている。
・いかにして若い人を入れていくかが課題。若い人はリサイクルの意識は学校教育などで身につけている。意識は高いが実際に行動（参加）はハードルが高い。
・飲食の出店は、使い捨て容器の問題があり、環境面での課題がある。

（３）むさしの青空市の継承したいもの

・ふれあいができる場の提供。

・参加する人が楽しくないとできない。目的があれば充実感もあり、楽しいと思える。実行委員も思いが強い人が集まって構成できる。

（４）新たに求められる視点や事業

・武蔵野市第六期長期計画や第二期産業振興計画に掲げた「まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興」という目標。

・リサイクルができる場は必要とされている。環境フェスタで実施することはできないか。市民が主体的にかかわることができる環境への取り組みができる場が欲しい。

・むさしのエコ re ゾートが目指しているものや、どんな事業をしているのか等をより多くの市民に周知する必要がある。

・むさしの青空市での環境への取り組みを、環境フェスタやむさしのエコ re ゾートで引き継いでいって欲しい。

５　新しい事業の方向性～まとめ

（１）むさしの青空市についての考察

「リサイクル意識の向上」や「ごみ減量・資源化」といった青空市の開催当初からの目的は、令和元年度（第 39 回むさしの青空市）の参加団体 35 団体を対象にしたアンケートや令和２年度の事務事業見直しの結果からも、概ね達成されたと評価できる。また、平成 20 年からは「むさしの環境フェスタ」が開催され、令和２年には「むさしのエコ re ゾート」もオープンしており、リサイクルやごみ減量といった理念は、形を変えて受け継がれている。また、「消費者運動」についても、消費生活展や消費生活センターにおける各種事業等で継続して実施している。

一方で、これまで実行委員会を支えてきた役員の高齢化や新たな担い手の不在から、これまでと同様のむさしの青空市の継続は困難な状況である。

しかしながら、秋のイベントやお祭りとしての継続を望む声もあり、このままでは秋のイベントそのものがなくなってしまう恐れがある。そのため、新たなイベントの立案と運営体制を検討する必要が出てきた。

先のアンケートやこれまで実行委員会に関わってきた役員等の意見からは、実行委員会形式での開催が望まれており、その理由として、実行委員会を運営していく中で市民の交流が促進されていた側面があったとの意見があった。しかしながら、回を重ねるごとに運営メンバーも出店者も固定化していき、次第に出店者間の交流も減ってしまったため、今後は出店者も含めて交流やつながりが生まれるような実行委員会の運営をしてほしいとの意向がある。お祭りとしては「武蔵野桜まつり」があるものの、出店者間の交流やつながりという点では十分に機能しているとまでは言えない状況である。

また、武蔵野市第六期長期計画や第二期武蔵野市産業振興計画に掲げる「まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興」という目標に向かうためには、市内の多

種多様で魅力的な事業者との連携や事業者間の相互連携（マッチングやコラボレーション等）を促進する必要がある。

（２）まちの魅力を創出する新しい事業の提案

以上のことから、市内事業者を加えた新たな実行委員会を組織し、青空市に代わる秋のイベントを企画・運営することで、青空市からの「市民の交流・ふれあい」や「出店者間の交流」を引き継ぐことを提案する。

この新たな秋のイベントの実行委員会を、事業者間の相互連携を生む仕掛け作りの場として新たな商品や事業を開発してもらい、イベント当日に新商品等の発表（販売・試供）を行う。そうすることで、そこに市民が集い、新たな交流やふれあいが生まれる賑わいイベントとなるのではないか。

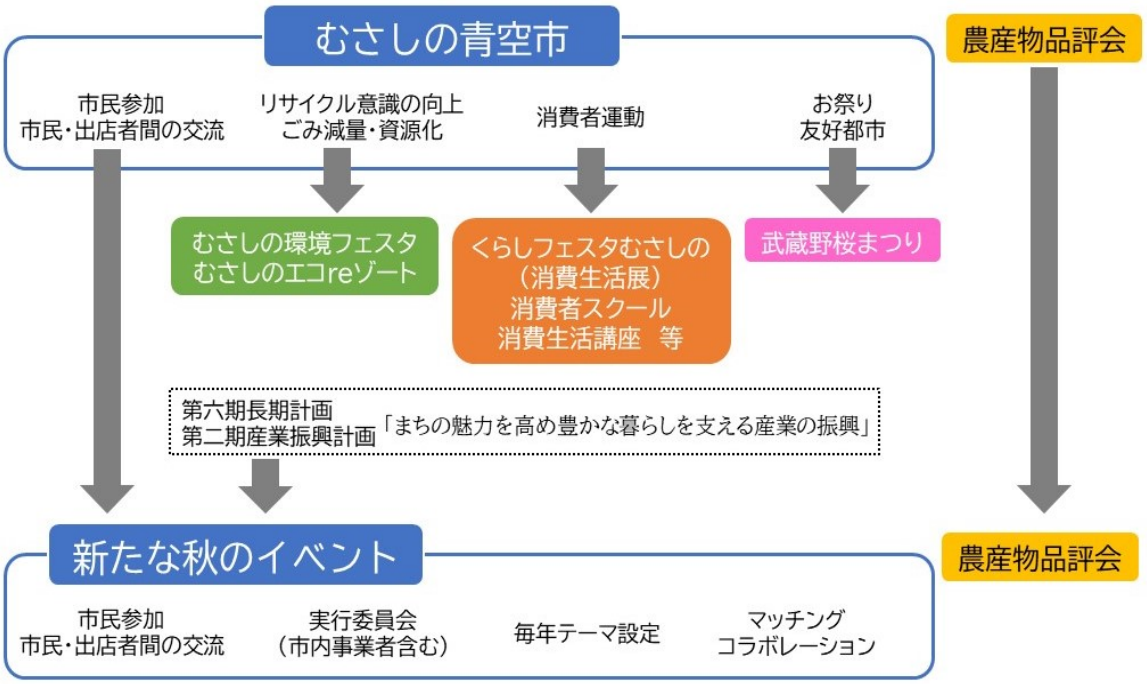
さらに、毎年の開催テーマを変えることで、実行委員会に加わる事業者も変えることができ、メンバーの固定化による交流の停滞も防ぐことができる。例えば、ある年は「食と農」をテーマにして、市内産農産物を使ったメニューを開発してもらうことで、市内農家と飲食店等の市内事業者との交流や連携を生み、またある年は「アニメと観光」をテーマにして、市内のアニメ制作会社と市内事業者の連携を生み、新たな商品や観光スポットを創出するなどである。

イベント当日をテストマーケティングの場と捉えると、そこに集った市民に消費者や応援者として、開発した商品や事業を評価してもらうことで、ブラッシュアップする機会ともなるのではないか。

この「市内事業者を加えた新たな実行委員会を組織し、青空市に代わる秋のイベントを企画・運営すること」を今後の方向性として提案する。

むさしの青空市がそのあり方の源流に持つ、「市民参加」の理念をしっかりと受け継ぐことが、重要であることも強調しておきたい。

《むさしの青空市の理念継承イメージ図》



資　料

むさしの青空市のあり方検討委員会委員名簿

任　期　　自　令和３年11月 18 日
　　至　令和４年２月 28 日
（当初任期令和４年１月 31 日より延長）

《委　員》

*敬称略

金子　良子	公益社団法人　武蔵野市シルバー人材センター
菊地　公子（委員長）	武蔵野市消費者運動連絡会
志賀　和男	クリーンむさしのを推進する会
平野　明夫	武蔵野市米穀小売商店組合
田川　良太（副委員長）	市民部長
朝生　剛	環境部長

《事務局》　　市民部産業振興課

《検討の経過》

	開催日	内　容
第１回	令和３年 11 月 18 日（木）	むさしの青空市のあり方検討委員会設置の経緯 むさしの青空市の今後の方向性について むさしの青空市のあり方について意見交換
第２回	令和３年 12 月 16 日（木）	中間のまとめ（案）の事務局説明 中間のまとめ（案）について意見交換

むさしの青空市のあり方検討委員会設置要綱

（設置）

第１条　行財政改革推進本部会議において、令和２年度に事務事業見直し事業として選定された昭和56年度から開催しているむさしの青空市について、時代の変化に合せて事業目的を整理し、今後のむさしの青空市のあり方について検討することを目的に、むさしの青空市検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第２条　検討委員会は、次に掲げる事項について、協議及び検討を行い、その結果を市長に報告する。

⑴　むさしの青空市の今後のあり方に関すること。

⑵　今後のむさしの青空市と関係課の実施する事業との協働に関すること。

⑶　前２号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

（組織）

第３条　検討委員会は次に掲げる委員６人以内をもって構成し、市長が委嘱し、又は任命する。

⑴　むさしの青空市役員又はむさしの青空市実行委員会に従事した者

⑵　市民部長

⑶　環境部長

（委員長及び副委員長）

第４条　検討委員会に委員長及び副委員長各１人を置く。

２　委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。

３　委員長は会務を統括し、検討委員会を代表する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第５条　検討委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

２　検討委員会の会議の議長は、委員長とする。

３　検討委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（事務局）

第６条　検討委員会の事務局は、市民部産業振興課に置く。

（その他）

第７条　この要綱に定めるもののほか、検討委員会について必要な事項は、市長が別に定める。

付　則

この要綱は、令和３年11月８日から施行する。

◎むさしの青空市についてのアンケート結果（令和２年６月実施：一部抜粋）

新型コロナウイルス感染症の拡大する状況で、令和２年度のむさしの青空市の実施の可否を含め、むさしの青空市のあり方等について、令和元年度の市民の参加団体（35 団体）にアンケートを実施した。28 団体より回答。

１　今年度の青空市の開催について

・開催する　　３件
・開催しない　　16 件
・その他　　８件
・回答なし　　１件

２　青空市の今後の在り方について

・これまでの実行委員会形式を踏襲し同じ形態で続けていく　　16 件
・開始当時の理念に基づく一定の役割と目的を果たしたので、今後は開催しない　４件
・その他　　８件

【各団体意見】

・秋のイベントとして市民に定着しているので、イベント自体は継続してほしい。
・実行委員のなり手がない状況で、以前通り進めるのは難しいが市民が環境等を考え、直接参加する形は残す必要があると思う。何とか若い方の担い手を見つけられないだろうか。
・第 40 回までは開催し、以降は秋まつりとして再考してはいかがか。リサイクル・日用品コーナーも参加団体が少なくなり、独立開催は無理です。特に衣料は販売困難になってきました。
・昨年度初めて展示ブースとして参加させていただき、運営にかかる関係者のご苦労を完全に理解しているわけではないが、市民が楽しみにしている「お祭り」として存続した方が良いと思う。ただし、青空市の理念、体裁が現在の社会情勢や市民の考えに即したものかなどは、議論の余地があると思う。
・友好都市の特産品販売、JA のイベント（品評会・宝船）を市民公園で開催し、より収穫祭に近い形態での開催を検討してみてはどうか。また、リサイクル等の当初理念は環境フェスタへ集約させる。友好都市の負担も考え、交流昼食会は、桜まつりのみとし、青空市での開催は縮小してもよいのでは。
・市民が直接資源活用などの活動に参加することは必要だと思うので、そういうコーナーはぜひ残したい。
・リサイクル・日用品コーナーとして出店は継続したいが、実行委員会形式にはこだわらない。
・リサイクルなどの消費者運動、安全な商品流通、市民交流や地域活性に対する青空市の位置づけは非常に大きいと思う。課題が明確にわからないが主催する方の負担が分散される形等検討し、イベントは継続してほしい。

・最近青空市に参加したので、開始当時の理念などはよくわからない。しかしながら市民の交流の場としてあるいは参加団体の広報をする場としては継続してゆく意義があるのではないか。

３　貴団体は、青空市の実行委員会を役員として支え、主体的に活動していくことができるか

・役員として活動できる　２件
・従来通りの参加にしたい　24 件
・その他　２件（可能な範囲で、できることがあれば）

【各団体意見】

・役員の活動がどの程度の時間や作業が必要なのかわからないが、地域の方たちと協力し合っていけるのは大切な場と考えており、可能な範囲でできることがあればと思う。（若者たちと設営などの準備はできそう。）
・団体として主体的な活動はメンバーが少ないので難しいが、団体の一員として個人的にお役に立てることがあれば協力したいと思う。
・実行委員会の開催回数は、議案内容を見直して、最小とすることも考えられる。
・当団体の組合員数の減少により参加困難な状況にある。

４　その他のご意見

・武蔵野市民のリサイクル意識は、この「青空市」のおかげで大分根づいてきた。新市民の意識学習はもう少し必要かと思うが。春の「さくらまつり」、秋の「青空市」名称はこのままで内容は変革が必要かと思います。若い人や新市民がもっと参加しやすい内容で実現してほしい。
・青空市は市民が楽しみにしている「お祭り」としての側面があり、行政としても多様な世代の方に施策をアピールする場ともなるのでぜひ存続いただきたいところですが、運営に携わる方々の負担を考えると、現在の趣旨・形態を維持するのか、単なる「お祭り」として運営を市民に委ねるか議論があってもよい。
・開催当時の理念というのは、省資源や省エネルギーの意識づけのためサイクルやフリーマーケットでしょうか？今後も継続して取り組んでよいテーマかと思うし、あれほど多くの地域団体の方々や地域にお住まいの方々と触れ合える場はなく、大事な交流機会と考える。他の参加団体の方たちはどのような目的で参加しているのか気になるところだ。
・青空市はごみ減量の一環としての活動だと思うので、続けてほしい。
・毎年参加しているが、運営委員の方参加団体の方々との交流を楽しみにしている。また、当日地域住民に私たちの活動を知ってもらえることが、大変有意義であり、ありがたいと思っている。

◎　むさしの青空市開催一覧と参加団体・来場者数（第１回～第 39 回）

回数	開催日	参加団体数	来場者	回数	開催日	参加団体数	来場者
第１回	昭和56年11月22日	27団体	—	第21回	平成13年11月4日	70団体	約12,000人
第２回	昭和57年11月7日	25団体	—	第22回	平成14年11月10日	70団体	約13,000人
第３回	昭和58年11月6日	31団体	—	第23回	平成15年11月16日	74団体	約13,000人
第４回	昭和59年11月4日	33団体	—	第24回	平成16年11月7日	71団体	約13,000人
第５回	昭和60年11月3日	41団体	—	第25回	平成17年11月13日	71団体	約12,000人
第６回	昭和61年11月2日	46団体	—	第26回	平成18年11月12日	64団体	約11,000人
第７回	昭和62年11月8日	55団体	—	第27回	平成19年11月11日	58団体	約10,000人
第８回	昭和63年11月6日	48団体	—	第28回	平成20年11月9日	59団体	約11,000人
第９回	平成元年11月12日	47団体	—	第29回	平成21年11月8日	56団体	約13,000人
第10回	平成2年11月11日	52団体	—	第30回	平成22年11月7日	53団体	約15,000人
第11回	平成3年11月11日	51団体	—	第31回	平成23年11月13日	52団体	約15,000人
第12回	平成4年11月8日	56団体	—	第32回	平成24年11月11日	50団体	約12,000人
第13回	平成5年11月7日	51団体	約40,000人	第33回	平成25年11月10日	58団体	約12,000人
第14回	平成6年11月6日	—	約15,000人	第34回	平成26年11月9日	57団体	約8,000人
第15回	平成7年11月12日	61団体	—	第35回	平成27年11月8日	56団体	約6,000人
第16回	平成8年11月4日	—	約20,000人	第36回	平成28年11月13日	59団体	約15,000人
第17回	平成9年11月9日	—	約15,000人	第37回	平成29年11月12日	58団体	約18,000人
第18回	平成10年11月8日	—	約15,000人	第38回	平成30年11月11日	59団体	約18,000人
第19回	平成11年11月7日	—	約12,000人	第39回	令和元年11月10日	58団体	約18,000人
第20回	平成12年11月12日	80団体	約12,000人				

＊『ー』は資料なし

＊「事務報告書」、「武蔵野市の消費者行政」

◎第 39 回むさしの青空市ちらし（令和元年度）【参考】

第39回 むさしの青空市

令和元年11月10日(日)　午前１０時～午後３時（雨天決行）　むさしの市民公園にて（市役所南側）

≪催し物ご案内≫

① リサイクル・日用品コーナー

★ シルバー人材センターによるリサイクル家具などの販売
※大きい品物は市内に限り１個 600 円(税込)で有料配達
★ 市民団体による日用品、衣類、食器、雑貨、本、玩具などのリサイクル品や小物の販売

② 修理・PRコーナー

★ 防災用品の展示および販売
★ 銭湯背景画の実演
★ 年賀ハガキ・記念切手の販売
★ 刑務所作業製品（石けん・乾麺）などの販売
★ 包丁研ぎ（１本５００円）：先着 170 本、１人２本まで
★ 新品食器・タオルなどの販売
★ ルーマニアの紹介、明るい選挙、薬物乱用防止、納税、電気の安全、民生児童委員、高齢者支援事業、福祉公社事業など PR

③ たべものコーナー

★ 焼きとり、焼きそば、お汁粉、フランクフルト、赤飯、スリランカ料理、甘酒、パン、産直青果、中華まん、菓子、飲み物などの販売

④ 農産物コーナー

★ 無農薬野菜の販売

≪ステージプログラム≫

10:00 開会宣言
10:02 会場案内・テント紹介・銭湯背景画の紹介
10:05 環境フェスタ PR
10:15 キッズダンス(K-BOOST)
10:30 民謡 むぎや節他（富山県南砺市）
10:55 早池峰しし踊り（岩手県遠野市）
11:30 式 典
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
12:20 アコースティックバンド(Academic BANANA)
12:40 フラダンス(オハナ・フラ)
12:55 ヒップホップダンス他（emotionS）
13:10 テーマパークダンス(Clover)
13:25 リズムでDANDAN！for キッズ（健康づくり支援センター）
13:50 ヒップホップダンス（成蹊中学ダンス部）
14:10 サイリウムダンス(UNKNOWN)
14:25 フラダンス(ナープア・レイ)

15:00 閉会のあいさつ
クリーンタイム

☆ その他

◎市役所北側駐輪スペース にて
品評会出品の市内産農産物展示・即売会
※ 展示は正午まで：即売は午後１時から
◎市役所正面玄関脇にて
野菜の宝船　展示と宝分け
※ 宝分けは午後２時から

◎市役所１階ロビー にて
歯の無料健康診査　午前10時～午後3時
◎市役所正面玄関脇にて
くらしフェスタ二次展示
※９月に開催した消費生活展の二次展示
◎クリーンセンターにて
第 12 回むさしの環境フェスタ開催
※ 午前10時～午後3時

☆ 友好都市物産コーナー

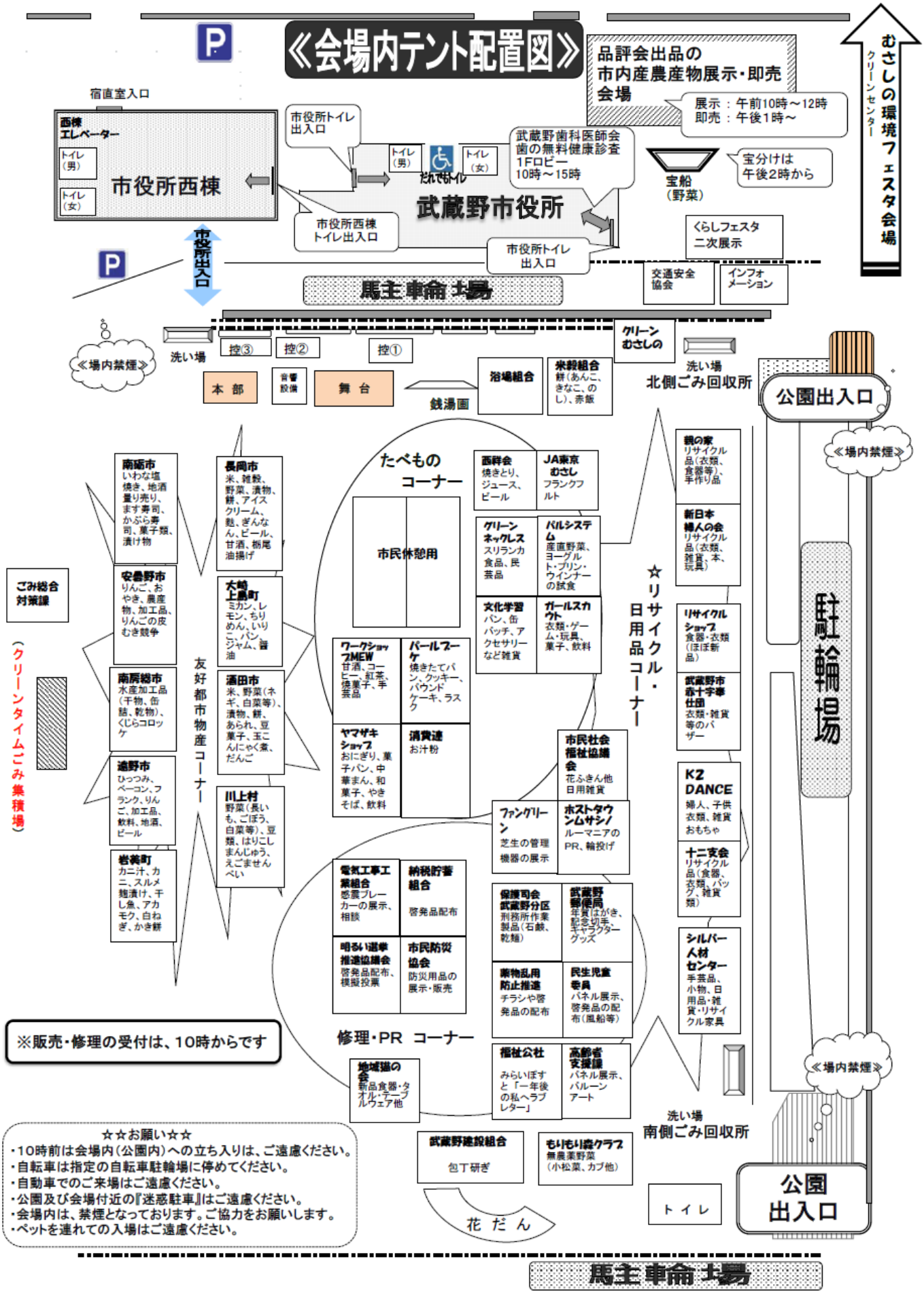
★ 友好都市の物産販売や観光 PR
（岩魚塩焼き、ます寿司、おやき、くじらコロッケ、ひっつみ、カニ汁、米、餅、漬け物、玉こんにゃく煮、地酒、ビール、甘酒、りんご、みかん、レモン、その他農産物、水産加工品など）

富山県南砺市・長野県安曇野市・長野県川上村
千葉県南房総市・岩手県遠野市・新潟県長岡市
広島県大崎上島町・山形県酒田市・鳥取県岩美町

※ 場内は禁煙となっております。
※ 車での来場はご遠慮ください。

≪捨てればごみ！分ければ資源！≫
◎『買い物袋（マイバッグ）皿・箸』の持参にご協力ください！
◎ 会場で出たごみ・資源は、会場入口南北２か所にあるごみ回収所で分別収集しています

主催：むさしの青空市実行委員会・武蔵野市



《会場内テント配置図》
P
品評会出品の
市内産農産物展示・即売
会場
展示 ： 午前10時～12時
即売 ： 午後1時～
むさしの環境フェスタ会場
クリーンセンター
宿直室入口
西棟
エレベーター
トイレ（男）
トイレ（女）
市役所西棟
市役所トイレ
出入口
トイレ（男）
だれでもトイレ
トイレ（女）
武蔵野歯科医師会
歯の無料健康診査
1Fロビー
10時～15時
武蔵野市役所
宝船
（野菜）
宝分けは
午後2時から
市役所西棟
トイレ出入口
市役所トイレ
出入口
くらしフェスタ
二次展示
交通安全
協会
インフォ
メーション
市役所出入口
馬主車輪場
《場内禁煙》
洗い場
控③
控②
控①
クリーン
むさしの
洗い場
北側ごみ回収所
本 部
音響
設備
舞 台
浴場組合
米穀組合
餅（あんこ、きなこ、のし）、赤飯
銭湯画
公園出入口
《場内禁煙》
南砺市
いわな塩焼き、地酒量り売り、ます寿司、かぶら寿司、菓子類、漬け物
長岡市
米、雑穀、野菜、漬物、餅、アイスクリーム、麩、ぎんなん、ビール、甘酒、栃尾油揚げ
たべもの
コーナー
西祥会
焼きとり、ジュース、ビール
JA東京
むさし
フランクフルト
親の家
リサイクル品（衣類、食器等）、手作り品
市民休憩用
グリーン
ネックレス
スリランカ食品、民芸品
パルシステム
産直野菜、ヨーグルト・プリン・ウインナーの試食
新日本
婦人の会
リサイクル品（衣類、雑貨、本、玩具）
ごみ総合
対策課
安曇野市
りんご、おやき、農産物、加工品、りんごの皮むき競争
大崎
上島町
ミカン、レモン、ちりめん、いりこ、パン、ジャム、醤油
文化学習
パン、缶バッチ、アクセサリーなど雑貨
ガールスカウト
衣類・ゲーム・玩具、菓子、飲料
☆リサイクル・
日用品コーナー
リサイクル
ショップ
食器・衣類（ほぼ新品）
（クリーンタイムごみ集積場）
南房総市
水産加工品（干物、缶詰、乾物）、くじらコロッケ
友好都市物産コーナー
ワークショップMEW
甘酒、コーヒー、紅茶、焼菓子、手芸品
パールブーケ
焼きたてパン、クッキー、パウンドケーキ、ラスク
武蔵野市
赤十字奉仕団
衣類・雑貨等のバザー
駐輪場
酒田市
米、野菜（ネギ、白菜等）、漬物、餅、あられ、豆菓子、玉こんにゃく煮、だんご
ヤマザキ
ショップ
おにぎり、菓子パン、中華まん、和菓子、やきそば、飲料
消費連
お汁粉
市民社会
福祉協議会
花ふきん他日用雑貨
遠野市
ひっつみ、ベーコン、フランク、りんご、加工品、飲料、地酒、ビール
川上村
野菜（長いも、ごぼう、白菜等）、豆類、はりこしまんじゅう、えごませんべい
ファングリーン
芝生の管理機器の展示
ホストタウンムサシノ
ルーマニアのPR、輪投げ
K2
DANCE
婦人、子供衣類、雑貨おもちゃ
十二支会
リサイクル品（食器、衣類、バッグ、雑貨類）
岩美町
カニ汁、カニ、スルメ麹漬け、干し魚、アカモク、白ねぎ、かき餅
電気工事工業組合
感震ブレーカーの展示、相談
納税貯蓄組合
啓発品配布
保護司会
武蔵野分区
刑務所作業製品（石鹸、乾麺）
武蔵野
郵便局
年賀はがき、記念切手、キャラクターグッズ
明るい選挙
推進協議会
啓発品配布、模擬投票
市民防災
協会
防災用品の展示・販売
薬物乱用
防止推進
チラシや啓発品の配布
民生児童
委員
パネル展示、啓発品の配布（風船等）
シルバー
人材
センター
手芸品、小物、日用品・雑貨・リサイクル家具
※販売・修理の受付は、10時からです
修理・PR コーナー
地域猫の
会
新品食器・タオル・テーブルウェア他
福祉公社
みらいぼすと「一年後の私へラブレター」
高齢者
支援課
パネル展示、バルーンアート
《場内禁煙》
洗い場
南側ごみ回収所
武蔵野建設組合
包丁研ぎ
もりもり森クラブ
無農薬野菜（小松菜、カブ他）
☆☆お願い☆☆
・10時前は会場内（公園内）への立ち入りは、ご遠慮ください。
・自転車は指定の自転車駐輪場に停めてください。
・自動車でのご来場はご遠慮ください。
・公園及び会場付近の『迷惑駐車』はご遠慮ください。
・会場内は、禁煙となっております。ご協力をお願いします。
・ペットを連れての入場はご遠慮ください。
トイレ
公園
出入口
花 だ ん
馬主車輪場